

表層底質図(20万分の1)の新刊

対島—五島海域 表層底質図

海洋地質図 2

著者 大嶋和雄・湯浅真人・黒田 敬・満塩博美・小野寺公児

発行 工業技術院地質調査所(1975.11.1)

取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809

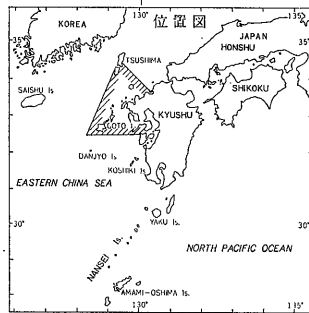
- 九州北西方の対馬南端部付近から五島列島福江島・野母半島南方までの南北約200km 東西約150kmの広い範囲にわたる大陸棚海域の底質分布を 採泥試料とその分析結果から 全紙大の表層底質図としてまとめたものである。

- 海底に露出する先第四紀の諸岩層は「基盤岩」として表現され 堆積物は 粒度組成(中央粒径値)による区分のほか 全域を通じて 残存堆積物(洪積世) 現世堆積物(沖積世) 再移動堆積物(洪積世-沖積世)の区分が示されている。 そのほか 炭酸塩含有量70%以上の部分および堆積物とともに採取された岩石の種類が 記号によって該当する測点のところに記

されている。

- 残存堆積物は 対馬海峡一玄界灘および福江島西方に広範囲に分布するほか 野母半島・天草下島西方に帯状に分布する。再移動堆積物は平戸島西方に広くみられるほか諸処に分布する。 現世堆積物は 沿岸のほかは福江島南東方の斜面に分布するだけである。炭酸カルシウム含有量が70%をこえる堆積物は 五島列島周辺から佐世保付近にかけての海域に多い。

- 本邦で広範囲にわたって堆積物の上記のような諸特性が明らかにされたのは この表層堆積図がはじめてである。



積図がはじめてである。 この図から第四紀における九州北西方の大陸棚上の堆積史が読みとられ さらに堆積物が関係する海底鉱物資源(たとえば石灰砂 砂利資源など)の探査の必要性が近い将来に叫ばれる際に この種の表層底質図は よい基礎的資料として利用できるであろう。

地質ニュース	第259号	3月号
	定価 ¥ 350	〒 50
昭和51年3月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部	
	東京都港区赤坂薬町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	